



いぬさわし

このたび、次の10年に向けた町のランドデザインとなる「第2次中泊町長期総合計画」を、議会の皆さまや総合計画策定審議会、そのほか多くの皆さまのご協力を得て策定できましたことを、まずもってお礼申し上げます。

本計画は、政府が進める「地方創生」の理念も含め、「しごと」と「ひと」の好循環により「まち」を活性化するという大きな方針のもとに策定したものであります。総務省が発表した2015年の国勢調査速報値では、日本の総人口が調査開始以来、初めて減少に転じたと報じられ、私たちの未来には、人口減少と少子高齢化という重い現実が待ち構えています。

本町においても、厳しい将来人口が予想されていますが、手

をこまねいては、現実や将来は変わりません。そのために本計画では、合併以来掲げてきた「大地の恵と海の幸、心ひとつに希望のまち」という基本理念を維持しながら、「豊かな自然とともに創る、暮らす、未来へつなぐ自立と協働のまち」という将来像を設定しました。これは、私たちの町が未来においても引き続き存続し、町民と協力しながら、豊かな自然を生かしたまちづくりによって、誰もが暮らしやすく住んでよかったと思える町にしたい、との思いからであります。

平成29年1月からは、町のシンボルであり、拠点となる施設「新・中泊町役場」が開庁する予定です。今後10年のまちづくりを考えるうえで、非常に大きな節目となるものであります。今後とも町民の皆さまからご理解やご支援をいただき、また町外の方からもぜひ私たちの町を応援していただきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

平成28年3月

中泊町長 小野 俊逸

町民憲章

平成18年3月28日制定

わたしたちは、豊かな津軽の大地と雄大な日本海の恵を受けているこの郷土を愛し、美しい自然と先人の英知によって築かれた歴史と伝統に誇りを持ち、心ひとつにみんなで力を合わせ、あずましい町をつくるために、この憲章を定めます。

- 一 働くことに喜びをもち、活力にみちた町をつくりましょう。
- 一 文化とスポーツを愛し、健康で明るい町をつくりましょう。
- 一 子どもとお年よりをいたわり、安らぎのある町をつくりましょう。
- 一 自然を守り、水と緑のきれいな町をつくりましょう。
- 一 ふれあいを大切にし、心の温かい町をつくりましょう。

※「あずましい」…津軽弁で「気持ちいい」「心地よい」の意



町章

中泊町の「中」の文字を基調に、豊かな自然の中で躍動する人を象徴的に表現しています。橙は太陽、青は海と空、緑は大地で自然に恵まれた中泊町をイメージしています。

（平成17年3月28日制定）



【ツバメ】

春を告げる鳥として親しまれ、巣を作った家には福が訪れると言われていました。躍動的なその姿を、未来への飛躍が期待される町のイメージと重ね、選定しました。



【ヒバ】

青森ヒバは、その香りと美しい木肌で人々を魅了し続けている神秘に満ちた樹木です。力強いその生命力を、時代を乗り越え成長する町のイメージとし、選定しました。



【菊】

優雅に穢れなく咲き誇る菊は、古くから人びとに親しまれてきました。町民の誇りと願いにふさわしい花として菊を選定しました。

（平成17年12月16日制定）

町の花・木・鳥